

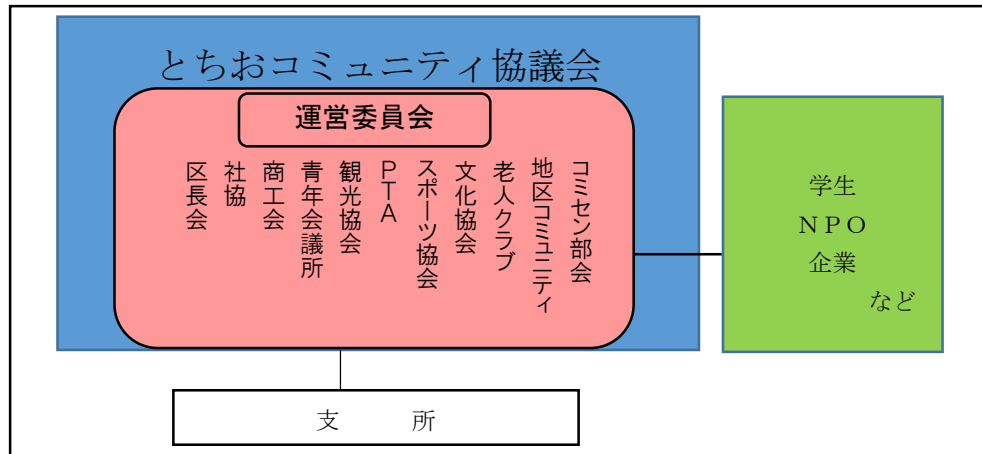
# 目指すべき地域組織(案)

地域名: 栃尾地域

## 1 組織

- (1) 中心となる組織名(下図 青 部分)  
とちおコミュニティ協議会
- (2) 中心となる組織の構成団体・メンバー(下図 ピンク 部分)  
とちおコミュニティ協議会 運営委員会
- (3) 話し合いのテーマにより連携することが想定される団体等(下図 緑 部分)  
学生、NPO、企業 など
- (4) 支所との関係・立ち位置  
支所は、まちづくり会議(仮称)の運営に係るコミュニティ協議会事務(コミセン業務)の支援、本庁・支所との繋ぎ役を担う。
- (5) 移行時期(目標)  
令和4年度から

### 【組織図例】



## 2 組織を運営する上での懸案・要望事項(制度、予算、人、運営方法等)

### <協議会組織として>

- ・まちづくり会議(仮称)を担ってほしい「とちおコミュニティ協議会」及び運営委員会に対して、その承諾を得るための説明が必要。
- ・運営委員会は協議会の役割とまちづくり会議(仮称)の役割の2役を兼ねることになるため、協議会規約について見直しを含め検討が必要。
- ・コミセン活動は謝礼金なしのボランティア活動であるが、まちづくり会議(仮称)はどのような立場になるのか。市から謝金が支払われるか。

### <運営として>

- ・新たな運営委員会は、広聴やまちづくりを、関係団体や地区コミ等の協議会組織と協働して対応(課題解決、要望)できるよう、調整役として支所職員の協力が求められる。

### <人的措置>

- ・協議会に新たにまちづくり会議(仮称)業務が移行されることで、その運営にあたりコミセンの業務量増が予想されるため、人手不足が懸念される。

## 3 その他(地域事情、特に考慮すべき事項等があれば記入)

協議会の自主財源確保が課題